

決議事項要約
国際理事会会議
米国マサチューセッツ州ボストン
2023年7月4日～6日

監査委員会

1. 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視を行っていく。

会則及び付則委員会

1. 300-A2 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Yang-Yang Yen ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
2. 324-D 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、R. Dinakaran ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
3. 315-B2 地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Shahadat Hossain ライオンを、2023～2024 年度第二副地区ガバナーとして宣言することに同意した。
4. 300-D5 地区の選挙抗議申し立てを支持し、Hung Chieh Chu 第二副地区ガバナーを、2023～2024 年度第一副地区ガバナーとして任命した。
5. B-3 地区の選挙抗議申し立てを支持し、2023～2024 年度第二副地区ガバナーを空席とすることに同意した。
6. 306-B2 地区の選挙抗議申し立てを支持し、2023～2024 年度第二副地区ガバナーを空席とすることに同意した。
7. 315 複合地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Nazmul Haque ライオンを、推薦された国際理事候補者として宣言することに同意した。
8. 103 複合地区の選挙抗議申し立てを棄却し、Guy-Bernard Brami ライオンを、推薦された国際理事候補者として宣言することに同意した。
9. Sunita Bansal を 321-C2 地区ガバナー職から 2022～2023 年度任期の残る期間解任すること、さらに元地区ガバナーとしての職歴を認めないこと、ライオンらしからぬ言動のためいかなるクラブの会員ともしないことを決議した。
10. キプロス全土のライオンズクラブを一致させる取り組みに協力することを現幹部が拒んだため、2024 年国際大会閉会時をもってキプロスの地区未編成地域を 135 暫定地区とすること、さらに、ロバート・レットビー元国際理事をコーディネーター・ライオンに任命することを決議した。
11. 韓国ライオンズによる国レベルの財団「韓国ライオンズクラブ連合会財団」の設立を認めることを決議した。
12. 財団の名称と付則の変更を地区が承認することを条件に、北マケドニア共和国による財団の設立を認めることを決議した。
13. 2023～2024 年度の理事会代表検討特別委員会の承認を決議した。
14. 諮問委員会設立趣意の変更を承認することを決議した。

大会委員会

1. 理事会方針書の第8章B項を更新し、ライオンズが代表団の割当ホテルに宿泊し

なければいけないという要件を取り除き、自ら大会ホテルを選択できるようにすることを承認した。

2. 複合地区／地区レベルの国際大会委員長職の任命基準を評価した。その上で、任命プロセスを簡素化する方法を調べるよう、テクノロジーおよびマーケティング担当職員に要請した。

地区及びクラブ・サービス委員会

1. 2023～2024 年度のコーディネーター・ライオンを務めるライオンズを任命した。
2. インターナショナル・マーケティング・アワードの申請手続きを合理化するため地区および複合地区マーケティング委員長の責務を改正した。
3. 新クラブの結成を奨励するため、標準版地区付則に記載されているゾーンとリジョンの記述を改訂した。
4. 地区グローバル・アクション・チームのメンバーと地区 LCIF コーディネーターに、キャビネット構成員としての投票権を与えるため、標準版地区会則を改訂した。
5. 地区または複合地区再編成案をクラブに通知するための日数要件を、60 日から 30 日に短縮した。
6. 手続きを合理化するため無活動クラブや架空クラブを調査するための手続きを改訂した。

財務及び本部運営委員会

1. 赤字を反映する 2022～2023 年度第 4 四半期予想を承認した。
2. 赤字を反映する 2023～2024 年度最終予算を承認した。
3. 運営引当金方針の変更案を、2023 年 7 月の新委員会会議で財務及び本部運営委員会にて協議し、2023 年 8 月の長期計画委員会に付託するものとした。
4. 2023 年 12 月までトルコの各ライオンズクラブを特別非常時ステータスに置き、地震の影響を受けた具体的なクラブについて 2023～2024 年度の理事会会議で財務及び本部運営委員会が審査を行うことを承認した。
5. ミッション 1.5 を支援するために第三副会長が出張する際の追加マイルを国際会長が承認できるように執行役員経費払戻し方針を改訂した。
6. ミッション 1.5 に必要なリーダーのフォーラム出張に対応するため、理事会方針書第 23 章 A.10 項を改訂した。
7. 国際大会送迎の入札手続きの例外を認め、署名承認レベル表を変更するよう、ライオンズ・インターナショナル購買方針を改訂した。

リーダーシップ開発委員会

1. スペイン語、スウェーデン語、イタリア語グループのグループリーダーの交代を含む、2023 年度地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー陣の更新を承認した。
2. 2023～2024 年度第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト・セミナーのカリキュラム計画とスケジュールを承認した。

3. 2024 年地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダー陣を承認した。
4. 理事会方針書第 14 章 D.10 項を改訂し、地区ガバナーエレクト・セミナー・グループリーダーの資格を並び替え、明確にしたほか、グループリーダーとしての任期の初めから国際大会でのセミナーまで、グループリーダーが国際理事または国際第三副会長候補として推薦を受けないようにした。
5. 理事会方針書を改訂し、第二副会長が地区のグループ分けを行って必要なグループリーダーの数を定める際には、混合モデルまたは地域別モデルのいずれかを選択するものとし、混合モデルの数は最大 31 グループ、地域別モデルの数は最大 36 グループまでとする。

長期計画委員会（2023 年 5 月会議の報告）

1. ライオンズ国際戦略計画プロジェクト・チームから、新しい成長モデルに関する実行可能性報告書と提案内容を受け取った。
2. ライオンズ国際戦略計画の進捗報告と次年度計画のプレビューを受け取った。
3. 2027 年 7 月 1 日までにライオンズクラブ国際協会の会員数を 150 万人に増やす計画の作業草案を確認した。
4. ライオンズクラブ国際財団理事会へのレオライオンの参加について審議した。
5. 中東欧グローバル・アクション・チーム及びコーディネーター・ライオン・コラボレーションについて討議した。
6. アドボカシー・イベントへの資金提供要請を審査するためのガイドラインと基準の作成について討議した。
7. ライオンズクラブ国際財団と世界食糧計画とのパートナーシップに関する議論の最新情報を受け取った。

マーケティング委員会

1. マーケティング部の 2022～2023 年度見通しと 2023～2024 年度予算を確認した。
2. ミッション 1.5 の立ち上げに向けた新たなサポートに関する最新情報を確認した。
3. フォーラム、ウェブサイト、デジタルプロダクトの商標の取り扱いに関する最新情報を確認した。
4. 平和ポスターおよび作文コンテストをデジタル形式で配布する計画について検討した。
5. グローバルな広報戦略と年度末の成果を確認した。マーケティング補助金サポートについて確認した。
6. ブランド・プログラムと戦略、および年度末の成果を確認した。マーケティング補助金サポートについて確認した。
7. ライオンズ国際戦略計画の一環として「ライオンズ・インターナショナル」ブランドへの移行状況を確認した。
8. マーケティング委員会の設立趣意を確認した。変更なし。
9. ミッション 1.5 をサポートするために推奨される変更を加えるため、表彰の一覧表を見直した。今回の見直しにより、新クラブの結成と新会員の増加を表彰する

ために、一定数の会長メダルとリーダーシップメダルが確保・追加される。使用基準は未定。これらの調整は、理事会方針書第 19 章で行われる。

10. レオ諮問パネルのメンバーを追加するため、理事会方針書第 19 章の国際プロトコルの更新を検討した。議論の結果、レオ諮問パネルのメンバーを様々な要因に基づいてプロトコルの適切な位置に含めるべきであると全会一致で同意した。

会員増強委員会

1. 会員増強補助金について討議し、委員会が検討するための、より詳細な申請書を作成するよう要請した。これには、計画の各段階に誰が責任を持ち、いつまでに完了させるかについての具体的な情報が含まれていなければならない。
2. 3234 D2 地区について討議した結果、モラトリウム処分を解除し、2023-2024 年度の地区ガバナーに Vijay Bhandari ライオンを任命した。
3. また、Narendra Bhandari ライオン、Girish Malpani ライオン、Rajesh Kothavade ライオン、Raj Muchhal ライオンは、2 年のあいだ役職を剥奪されるものとする。Parmanand Sharma ライオンは、以前決定された 5 年ではなく、2 年後に再出馬することができる。
4. スペシャルティクラブ・コーディネーター職を終了し、従来型クラブとスペシャルティクラブ両方の結成において、グローバル・エクステンション・チーム・コーディネーターを活用するよう地区に奨励する。
5. 会員数を 150 万人に増やし、すべての会則分野で純増を達成する会員拡大のイニシアチブ「ミッション 1.5」を立ち上げた。
6. ミッション 1.5 を支援するため、GAT サクセスストーリー補助金と GAT 委員長メダルの廃止を含む、グローバル・アクション・チームの方針の変更を行なった。

奉仕事業委員会

1. 2022～2023 年度第 4 四半期収支予想を確認した。
2. 2023～2024 年度予算について討議し、インドのライオンズによるインド・アドボカシー・デーへの資金援助要請を支持した。
3. 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
4. 国連ライオンズ・デーの行事や各種アドボカシー・デーを含む、アドボカシーの取り組みに関する最新報告を受けた。
5. ライオンズ・インターナショナルのアドボカシー・ガイドラインの変更を推奨した。
6. 難民・避難民への支援や、糖尿病啓発・教育活動を含む、グローバル重点分野および奉仕プログラムについて討議した。
7. 2023 年期ライオンズ&エレバンスヘルス・ボランティア・デーの最新報告を受けた。
8. ライオンズ国際戦略計画の単発ボランティア奉仕事業について最新報告を受けた。

9. 奉仕事業部の 2023～2024 年度年次計画を確認した。

テクノロジー委員会

1. 2023 年ボストン国際大会および選挙のサポートについて最終報告を受けた。
2. テクノロジー部の 2022～2023 年度第 4 四半期見通しと 2023～2024 年度予算を確認した。
3. Salesforce プロジェクトに関する包括的な最新報告を受け、Lion Portal は 2023 年 9 月立ち上げ予定との情報を受けた。
4. デジタル会員体験への変更が会員に与える影響を最小限に留めるため、必要となるチェンジマネジメントと会員エンゲージメントについて討議した。
5. プライバシー保護の取り組み、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置に関する最新情報を確認し、正式な認証を受けずに ISO（国際標準化機構）27001 コンプライアンス・プロジェクトを継続するようスタッフに要請した。
6. ウェブサイトのナビゲーション更新プロジェクトの最新報告を受けた。
7. 会員増強委員会の最新情報を確認し、Salesforce プロジェクトの一環として実施される新クラブ申請プロセス改善プロジェクトの状況について討議した。
8. 協会のプライバシー方針が記載されている理事会方針書第 26 章を更新する必要性について議論した。

上記要約のいずれかに関する詳細は、協会ウェブサイト www.lionsclubs.org でご覧いただくか、法務部にお問い合わせください。